

リハビリテーション学部 理学療法学科 2023 年度活動報告

(2023 年 1 月～2024 年 3 月末日)

五十嵐 広明：教授

【社会貢献活動】

- 1) 横浜市の「まちづくり」の公的委員：第 40 期横浜市建築協定連絡協議会 幹事
- 2) 教育講演：「建築協定とは」第 40 期横浜市建築協定連絡協議会春の勉強会，2024 年 3 月．横浜
- 3) 第 40 期横浜市建築協定連絡協議会総会主催，2023 年 6 月．横浜
- 4) 第 40 期横浜市建築協定連絡協議会秋の勉強会主催，2023 年 11 月．横浜

岩本 浩二：教授

【論文】

- 1) 岩本浩二：前腕回旋運動における機能解剖学研究の変遷．ヘルサイエンスリサーチ機構研究講演冊子：7-10，2023 年 7 月

【学会発表】

- 1) 中村勇，岩本浩二，佐藤瑞穂，阿部尚美，深谷雅博，中山智博：唾液中有機酸分析におけるいくつかの同位体代謝物について (Some isotopic metabolites in the analysis of organic acids in saliva)．第 48 回日本医用マススペクトル学会年会，2023 年 9 月．名古屋

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

- 1) 高橋真，岩本浩二，富田和秀：野球競技における投球障害肩の発症を予測する肩関節変性指標の新規開発．日本学術振興会科学研究費助成事業．基盤研究(C)2024 年 2 月採択通知課題
- 2) 佐藤瑞穂，中村勇，富田和秀，岩本浩二：アスリートの身体情報を評価する尿検査方法の開発．共同プロジェクト研究 (2022 年度より進行中)
- 3) 岩本浩二，富田和秀，中村勇，佐藤瑞穂：運動カテゴリーのメタボローム解析に関する研究．茨城県立医療大学共同研究 (2021～2024 年度)

【社会貢献活動】

- 1) ザ・ランニングクリニック コース・セミナー主催

- 2) 日本臨床徒手医学協会セミナーマネジメント
- 3) 茨城県立医療大学保健医療学部 共同研究員
- 4) 茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科 共同研究員
- 5) 茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科 博士前期課程
- 6) 理学療法学・作業療法学専攻 学外指導教員
- 7) 茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科 博士後期課程
保健医療科学専攻 学外指導教員

江幡 真史：教授

【学術報告】

- 1) 江幡真史：実務家教員としての「授業設計と実践」に関する考察．日本実務教育学会第 3 回研究大会報告，2023 年 6 月
- 2) 江幡真史，柳澤孝主，片岡幸彦，若原圭子：東京保健医療専門職大学における統合分野科目「共生社会の展開と実践」の意義，成果，課題の検討．敬心学園第 20 回職業教育研修会，2023 年 10 月
- 3) 江幡真史：敬心学園第 20 回職業教育研修会第五分科会座長，2023 年 10 月

【社会貢献活動】

- 1) 公益社団法人 経済同友会 幹事
- 2) 第 8 期練馬区介護保険運営協議会委員

清宮 清美：教授(学科長)

【著書】

- 1) 田中マキ子監修．ポジショニング学改訂第 2 版．中山書店

【学会発表】

- 1) 清宮清美，小川雄司：両上肢障害を伴う両下肢切断者の義足懸垂システム変更事例．第 39 回日本義肢装具学会学術大会，2023 年 10 月

【執筆】

- 1) 福祉用具の開発に理学療法の視点を．シルバー

新報「第50回国際福祉機器展 H.C.R 2023」特集号「2025年に向けた福祉用具・福祉用具サービス」

- 2) 理学療法士と福祉用具～福祉用具法施行 30年を迎えて～. 日本生活支援工学会誌
- 3) 福祉用具に携わる理学療法士の役割. 日本リハビリテーション工学協会誌. 2024年1月

【学術活動】

- 1) 創立50周年記念シンポジウム. シンポジスト. 社会医学技術学院. 2023年7月
- 2) 陶山哲夫他 パラスポーツの発展と最新情報. 第42回関東甲信越ブロック学会 市民公開講座司会. 2023年10月
- 3) 福祉用具・義肢・装具支援に関する実態調査(アンケート)報告. 第12回日本支援工学理学療法学会大会. 2023年12月
- 4) 第18回日本シーティング・シンポジウム 開催支援

【社会貢献活動】

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会常務理事
(ア) 障がい児(発達障がい児)対策事業部会担当
(イ) 障がい者スポーツ普及促進事業部会担当
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会 相談役
- 3) 公益社団法人埼玉県理学療法士会 監事
- 4) 一般社団法人日本支援工学理学療法学会評議員
- 5) 一般財団法人日本障害者リハビリテーション協会理事
- 6) 公益財団法人テクノエイド協会 理事
- 7) 国立リハビリテーションセンター学院 学校関係者評価委員会 委員
- 8) 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会福祉機器コンテストオブザーバー

佐久間 肇：教授(学校医)

【著書】

- 1) 佐久間肇：障害別にみた特徴と雇用上の注意：内部障害, 令和5年度障害者職業生活指導員資格認定講習テキスト, 2023年6月. (独) 高齢・

障害・求職者雇用支援機構

- 2) 佐久間肇：障害別にみた特徴と雇用上の注意：内部障害, 2023年版(公務部門向け)障害者職業生活職業生活指導員資格認定講習テキスト. 2023年6月. 厚生労働省

【社会貢献活動】

- 1) (公)日本アンチドーピング機構 TUE 審査委員
- 2) (公)日本パラスポーツ協会・医学委員会委員
- 3) (公)日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツ医養成講習会講師. 2024年2月16日, さいたま市
- 4) (公)日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツトレーナー養成講習会講師. 2023年7月29日. 横浜市
- 5) 東京都多摩障害者スポーツセンター医事相談

田畑 稔：教授(研究推進室長)

【共同研究・競争的資金等の研究課題】

- 1) 左心室収縮機能が維持される慢性心不全患者における心不全再入院を予防する方法の確立. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C). 2019年4月より継続中

【著書】

- 1) 田畑稔, 陶山哲夫：運動器リハビリテーションの機能評価 原著第7版. (担当:編訳, 範囲:第9章 腰椎), エルゼビア・ジャパン株式会社. pp1-84. 2023年4月 (ISBN: 9784860346935).

【学会活動】

- 1) 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会座長. 2023年7月15日
- 2) 第7回日本循環器理学療法学会学術大会賞演題座長. 2023年09月02日
- 3) 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会演題査読委員
- 4) 第7回日本循環器理学療法学会学術大会演題査読委員
- 5) 第9回日本糖尿病理学療法学会学術大会演題査読委員
- 6) 第12回日本理学療法教育学会学術大会演題査読委員

- 7) 第 10 回日本予防理学療法学会学術大会演題査読委員
- 8) 第 88 回日本循環器学会学術集会演題査読委員.

【学会役員】

- 1) 日本心不全学会 代議員
- 2) 日本循環器学会 心不全療養指導士実務部会委員
- 3) 日本心臓リハビリテーション学会 評議員
- 4) 日本心臓リハビリテーション学会 編集委員会編集委員
- 5) 日本循環器理学療法学会 理事
- 6) 日本予防理学療法学会 評議員
- 7) 日本理学療法学会連合 編集委員会 査読委員
- 8) 日本循環器理学療法学会 第 8 回 学術大会準備委員
- 9) 日本循環器理学療法学会 規約検討・利益相反委員会 委員長
- 10) 日本予防理学療法学会 機関誌編集委員会 編集委員
- 11) 日本循環器理学療法学会 機関誌編集委員会 副委員長
- 12) 東京都理学療法士協会 地域活性局 区東北部・区東部ブロック部 世話人
- 13) 学校法人 敬心学園 研究審査・評価専門委員会 研究審査・評価専門委員
- 14) 東京保健医療専門職大学 教育過程連携議会 構成員

【社会貢献活動】

- 1) 江東区健康リハビリテーション事業 (江東保健所)
- 2) 江東区 (深川、亀戸、城東) ふれあいセンターにおける【頭と体の健康度チェック 2023】へ参加
- 3)

西澤 達夫 : 教授

【学術報告】

- 1) 西澤達夫: 支援システム工学の理論と実践: 3D プリンタを用いた個別支援システムの実現. 東京保健医療専門職大学 第 4 回学術大会. 2023 年 12 月 3 日

【社会貢献活動】

- 1) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会 参与

宮地 恵美子 : 教授

【社会貢献活動】

- 1) 専門職大学コンソーシアム 事務局 及び認証評価部会部会長
- 2) 一般財団法人吉岡文化教育協会 理事

鳥居 昭久 : 准教授 (副学部長)

【論文】

- 1) 鳥居昭久: パラスリートのトレーニングについて考える. 日本パラスポーツ学会誌第 2 号. 2023 年

【学会・研修会講師など】

- 1) 日本パラスポーツ協会中級パラスポーツ指導員養成講習会講師. 「身体のしくみとトレーニング」「障害各論(肢体不自由)」「パラスポーツと理学療法」(愛知 1 月, 京都 6 月, 愛知 8 月, 山梨 9 月, 三重 11 月, 東京 11 月, 北海道 12 月)
- 2) 日本パラスポーツ協会上級パラスポーツ指導員養成講習会講師「スポーツ障害」(広島, 8 月)
- 3) 東京都障害者総合スポーツセンター医療福祉教育連携講座講師「スポーツの有効性について~障害者スポーツセンターでのスポーツ活動事例を交えて~」(9 月)
- 4) 東京都障害者総合スポーツセンター指導者フォローアップ講習会「スポーツ外傷・スポーツ障害の基礎とパラスポーツにおける予防の一知見」(12 月)

【社会活動など】

- 1) 日本パラスポーツ協会トレーナー部会委員 (通年)
- 2) 日本理学療法士協会パラスポーツ理学療法業務推進部会部員 (通年)
- 3) 愛知県アスレティックトレーナー連絡協議会監事 (通年)
- 4) 名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会トレー

ナー部会委員(通年)

- 5) 愛知県 2026 年アジア競技大会等選手強化事業アスリート強化専門委員会委員(通年)
- 6) 日本スポーツ振興センター(JSC)ハイパフォーマンススポーツセンター事業コンディショニング領域委嘱トレーナー(通年)
- 7) 愛知医療学院短期大学リハビリテーション学科非常勤講師。(健康科学, リハビリテーション倫理, 理学療法特論スポーツ理学療法). 2021 年 4 月~12 月
- 8) 名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻非常勤講師「スポーツ理学療法・パラスポーツ概論」. 2023 年 7 月
- 9) 北里大学保健衛生学部理学療法学専攻非常勤講師。「整形外科系理学療法学実習・パラスポーツ入門」. 2023 年 12 月
- 10) 日本パラリンピック委員会ジャパンライジングスタープログラム体力測定会スタッフ. 神奈川. 2023 年 10 月
- 11) ナゴヤウイメンズホイルチェアマラソン本部トレーナーブーススタッフ. 2023 年 3 月
- 12) 東京都障害者総合スポーツセンター事業「障がい者スポーツトレーナーによるサポート」. 2023 年 5 月, 8 月, 11 月. 「アスリート育成」. 2023 年 8 月
- 13) 名古屋市障がい者スポーツ大会運営スタッフ. 2023 年 5 月
- 14) ジャパンパラ陸上競技大会トレーナースタッフ. 2023 年 6 月
- 15) 出前講義: 名古屋市立豊臣小学校(1 月), 名古屋市立廿軒家小学校(7 月), つくば国際大学付属東風高校(7 月), 名古屋市立高杉中学校(9 月), 名古屋市立名北小学校(9 月), 名古屋市立高田小学校(12 月)

安田 和弘: 准教授

【論文 (欧文)】

- 1) Shutaro TORIYA, Xinyi YANG, Kiichi NISHIMURA, Kazuhiro YASUDA, Hiroyasu IWATA: Neurorehabilitation Method for Preventing

the Collapse of Internal Model : Verification of Unconscious Motor Change Caused by Implicit Error Involved in Multimodal Sensory FBs(Feedbacks) ”, Proceeding of IEEE/EMBS 45th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine & Biology Society (EMBC2023), 2023 年 7 月

- 2) Jing-Chen HONG, Kazuhiro YASUDA, Xiutung XU, Hiroyasu IWATA : Development of a System Integrating Immersive VR and Vibrotactile Feedback to Reduce Visual Dependence in Postural Control: A Feasibility Study in Young Healthy Participants. Proceeding of 2023 IEEE International Conference on Robotics and Biomimetics (ROBIO2023), 2023 年 12 月
- 3) Akira KOSHINO, Kazuhiro YASUDA, Saki TAKAZAWA, Shuntaro KAWAGUCHI, Hiroyasu IWATA : Immersive VR System for Evaluating the Severity of Object-Centered Neglect Based on Environmental Complexity. Proceeding of International Symposium on System Integration (SII2024). 2024 年 1 月

【論文 (和文)】

- 1) 越野晶, 安田和弘, 高澤彩紀, 川口俊太郎, 岩田浩康: 環境複雑性に応じた物体中心無視の重症度評価手法の提案. 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会論文集, 1P1-D24, 2023 年 6 月
- 2) 鳥谷周太郎, 徐秋彤, 洪境晨, ラウ シュン ケ ット デイビッド, 安田和弘, 岩田浩康: 重心偏在方向の振動提示ベルトを用いた高齢者の姿勢制御における視覚依存性低減効果の検証. 第 38 回ライフサポート学会大会論文集. 2023 年 9 月
- 3) 高澤彩紀, 安田和弘, 川口俊太郎, 岩田浩康: 半側空間無視患者における 3D-VR を用いた視野幾何特性の同定. 第 38 回ライフサポート学会大会論文集. 2023 年 9 月

- 4) 越野晶, 安田和弘, 高澤彩紀, 川口俊太郎, 岩田浩康: 半側空間無視患者に対する単純/複雑な提示刺激に対する時空間的な反応分析 —没入型 VR を用いた 3 次元的検証—. 第 44 回バイオメカニズム学術講演会論文集. 2023 年 11 月
- 5) 安田和弘, 有本邦洋, 富田義人, 井川大樹: 聴覚に対するリズム呈示がヒトの歩行機能に与える影響の検証. 東京保健医療専門職大学紀要. 2024 年 3 月

【学会・研修会講師など】

- 1) 第 1 回デジタル理学療法研究会学術大会 シンポジスト. VR リハビリテーション—臨床応用と課題—. 2023 年 6 月. 東京都
- 2) 東京都立大学 (プレミアムカレッジ) 講師. 高齢者の歩行と認知. 2023 年 8 月. 東京都
- 3) 第 60 回 日本リハビリテーション医学会 シンポジスト. バーチャルリアリティ技術の臨床応用. 2023 年 7 月. 福岡県
- 4) 第 73 回 日本体育・スポーツ・健康学会 シンポジスト. バーチャルリアリティ技術の臨床応用. 2023 年 8 月. 京都府
- 5) 東京都立大学 (プレミアムカレッジ) 講師. 現代テクノロジーとデータ科学. 2023 年 9 月. 東京都
- 6) 日本生活支援工学会・日本機会学会・ライフサポート学会 合同学会 座長. ニューロリハビリテーションと工学. 2023 年 9 月. 新潟県
- 7) 福岡桜十字病院第 8 回医工学連携 web セミナー講師. リハビリテーションツールの方向性. 2023 年 10 月. ウェブ開催
- 8) 日本支援工学理学療法学会 教育講演司会. 先端技術を活かしたリハビリテーションと生活支援. 2023 年 12 月
- 9) 東京都立大学 (プレミアムカレッジ) 講師. 東京から考える Quality of Life : ヘルスケアテクノロジー. 2023 年 12 月. 東京都

【社会貢献活動】

- 1) 厚生労働省「自立支援機器イノベーション人材育成事業評価委員会」委員

- 2) 厚生労働省「障害者自立支援機器等開発評価委員会」委員
- 3) 日本支援工学理学療法学会 評議員
- 4) NP0 日本ロボットリハビリテーション・ケア研究会 世話人
- 5) 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 博士論文 外部審査委員 (副査)
- 6) 筑波大学大学院 知能機能システム学位プログラム 博士論文 外部審査委員 (副査)

加藤 剛平 : 講師

【訳書】

- 1) Magee David J, Manske Robert C, 陶山哲夫, 高倉保幸, 赤坂清和, 乙戸崇寛, 加藤剛平 (監修): 運動器リハビリテーションの機能評価. エルゼビア・ジャパン. 2023 年 4 月

【論文】

- 1) 加藤剛平, 富田義人, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: コロナ禍における医療系大学生の Quality of Life に関連する精神的健康度および主観的運動習慣. 総合理学療法学. 2023;3 : 9-17
- 2) 加藤剛平: 産業衛生領域におけるこれからの理学療法のニーズ. 理学療法学. 2023;50(2) : 51-58
- 3) 富田義人, 加藤剛平, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: 新型コロナウイルス感染症蔓延下における大学生の主観的運動量増加と精神的健康度との関連. 日本予防理学療法学会雑誌. 2023;3(1) : 17-21

【社会貢献活動】

- 1) 日本産業理学療法研究会 評議員
- 2) Medicine® 学術編集委員

五嶋 裕子 : 講師

【書籍】

- 1) 15 レクチャーシリーズ リハビリテーション統計学 第 2 版, 中山書店, 2023 年 3 月

【学会発表】

- 1) 猪股英輔, 五嶋裕子, 齋藤久恵, 坂本俊夫, 平

野夏子：認知症高齢者のウェルビーイングと交流活動実施者の態度に関する研究，第4回TPU学術大会

- 2) 若原圭子，五嶋裕子，有本邦洋，齋藤久恵，秋元美穂：リハビリテーション専門職が障害者の旅行参加を促すアプローチに関する研究，第4回TPU学術大会

【社会貢献活動】

- 1) 臨床実習指導者講習会 講師・世話人
 - ・杏林大学 講師 2023年2月
 - ・東京保健医療専門職大学 講師 2023年5月
 - ・杏林大学 講師 2023年7月
 - ・日本リハビリテーション専門学校 講師 2023年8月
 - ・東京保健医療専門職大学 講師 2023年11月
 - ・帝京科学大学 世話人 2023年12月
 - ・日本リハビリテーション専門学校 講師 2024年2月
- 2) リハビリテーションリサーチメソッド研究会主催 統計・研究法講習会 (WEB開催) 講師 2023年3月
- 3) 湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 統計学 非常勤講師
- 4) リハビリテーションリサーチメソッド研究会 理事
- 5) 東京都理学療法士協会 臨床実習指導者講習会 協議会委員
- 6) 江東区連携事業 認知症カフェ事業 ワーキンググループ
- 7) 敬心学園 敬心ジャーナル編集委員

杉山 真理：講師

【学会発表】

- 1) 日本パラスポーツ協会 障害区分判定研修会 講師 2023年7月8日～9日
- 2) 杉山真理：感覚障害を有する片麻痺者の骨格筋電気刺激強度の設定方法の検討. 日本物理療法合同学術大会 2024. 2024年1月. 奈良県.
- 3) 第12回日本支援工学理学療法学会学術大会 座長. 2023年12月

【社会貢献活動】

- 1) 一般社団法人日本支援工学理学療法学会 理事
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会 パラスポーツ理学療法業務推進事業運営部会 部会員
- 3) 日本パラスポーツトレーナー学会 事務局
- 4) 日本パラスポーツ協会 技術委員会 委員
- 5) 埼玉県産業技術総合センター 客員研究員
- 6) 令和5年度「障がい者スポーツ次世代ホープ発掘事業」専門相談員
- 7) 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 クラス分け委員会 委員
- 8) 2023年度 JSTAR プロジェクト 委員
- 9) 江東区 福祉部介護保険課在宅支援係 地域リハビリテーション相談員

武井 圭一：講師

【論文】

- 1) Takei K, Morita S, Watanabe Y: Acceptability of Physical Therapy Combined with Nintendo Ring Fit Adventure Exergame for Geriatric Hospitalized Patients. Games Health J. 2023 Aug 10. doi : 10.1089/g4h.2023.0009.
- 2) 武井圭一，菅波美穂，森田新平：回復期脳卒中患者に対するエクサゲームを併用した理学療法の実行可能性-ABA シングルケースデザインによる検証-.” 理学療法学 50(4) : 148-154. 2023年
- 3) 武井圭一：回復期脳卒中患者に対する理学療法へのエクサゲームの導入-安全性・実行可能性・受容性の検証- (短報). 東京保健医療専門職大学紀要 3(1) : 40-47. 2023年
- 4) 小野寺哲夫，畠山久司，武井圭一，大塚幸永，森本晃司，江幡真史：医療系専門職大学の教育的特徴の何が OT/PT を目指す学生の成長に影響を与えるのか-東京保健医療専門職大学 (TPU) の第1期生と2期生に対するアンケート調査による検討-. 敬心・研究ジャーナル 7(1) : 45-51. 2023年
- 5) 畠山久司，小野寺哲夫，武井圭一，森本晃司，大塚幸永：医療系専門職大学の入学生に対する

専門職大学の認知度に関する調査研究. 作業療法教育研究 23(1) : 10-18. 2023 年

【著書】

- 1) 陶山哲夫, 高倉保幸, 赤坂清和, 乙戸崇寛, 加藤剛平 (監訳), 武井圭一, 他 (共訳) : 運動器リハビリテーションの機能評価 (原著第 7 版). エルゼビア・ジャパン. pp85-119. 2023 年 4 月

【学会発表】

- 1) 武井圭一 : デジタルゲームを用いた二重課題トレーニングの視線解析による認知評価の開発, 第 4 回東京保健医療専門職大学学術大会, 2023 年 12 月 3 日, 東京.
- 2) 添田祥司, 武井圭一, 菅波美穂, 栃木悠, 森田新平, 稲生実枝 : 半側空間無視・注意障害を呈した脳卒中患者に対する Motor-cognitive Training を併用した理学療法の効果, 第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2023 年 10 月 14-15 日, 埼玉
- 3) 畠山久司, 小野寺哲夫, 武井圭一, 森本晃司, 大塚幸永, 江幡真史 : 医療系専門職大学の入学生における専門職大学に対する認知度の変化, 第 36 回教育研究大会・教員研修会, 2023 年 8 月 25-26 日, 大阪

田中 直樹 : 講師

【論文】

- 1) Naoki Tanaka, Hiroaki Yano, Yasuhiko Ebata, Kazuaki Ebihara. : Influence of Robot-Assisted Gait Training on Lower-Limb Muscle Activity in Patients With Stroke : Comparison With Conventional Gait Training. Ann Rehabil Med, 47(3), 205-213, 2023 年

【学会発表】

- 1) 田中直樹, 海老原一彰, 深谷孝平, 矢野博明 : ロボットアシスト歩行が脳卒中患者の筋活動に与える効果の検証-通常歩行トレーニングと比較して-, 第 7 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023 年 11 月 5 日. 宮崎県
- 2) 深谷孝平, 海老原一彰, 田中直樹, 清水如代, 羽田康司 : 回復期脳卒中片麻痺患者に対する歩

行感覚提示装置を用いたロボットアシスト歩行練習の長期的有用性, 第 7 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023 年 11 月 5 日. 宮崎県

【社会貢献】

- 1) Topics of stroke rehabilitation 論文査読

富田 義人 : 講師

【執筆】

- 1) 千葉憲哉, 福田俊夫, 金ヶ江光生, 水上諭, 富田義人, 川原洋一 : アナログ pet/ct 時代からデジタル pet/ct 時代で何が変わるか? : デジタル pet/ct の進化が多様性のある新しい医療の可能性を開く. 月刊新医療. 2023;50 : 78-82.

【論文投稿】

- 1) 加藤 剛平, 富田義人, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司 : コロナ禍における医療系大学生の quality of life に関連する精神的健康度および主観的運動習慣. 総合理学療法学. 2023; 4 : 1-9.
- 2) Tetsuji Okawachi, Kazuhiko Arima, Satoshi Mizukami, Serina Koto, Masahiro Suiko, Ayano Kit, Hiroki Nakashima, Michiko Uchiyama, Yuzo Honda, Natsumi Tanaka, Ritsu Tsujimoto, Takayuki Nishimura, Yoshihito Tomita, Yasuyo Abe, Yosuke Kusano, Shin-Ya Kawashiri, Mami Tamai, Hiroto Yamanashi, Yasuhiro Nagata, Atsushi Kawakami, Takahiro Maeda, and Kiyoshi Aoyagi : Association between mental health and bone mass among community-dwelling adults : Nagasaki islands study on bone health. Acta Med Nagasaki. 2023; 66 : 81-6.
- 3) Masahiro Suiko, Satoshi Mizukami, Kazuhiko Arima, Hiroki Nakashima, Takayuki Nishimura, Yoshihito Tomita, Yasuyo Abe, Natsumi Tanaka, Yuzo Honda, Michiko Kojima, Tetsuji Okawachi, Maiko Hasegawa, Youko Sou, Ritsu Tsujimoto, Mitsuo Kanagae, Makoto Osaki, Kiyoshi Aoyagi : Association between

physical performance and bone mass in community-dwelling postmenopausal Japanese women: The unzen study. PLoS One. 2024; 19: e0296457.

- 4) 川原洋一, 富田義人, 水上諭, 金ヶ江光生: 新型コロナウイルス感染症影響下における理学介護学生の主観的幸福度の関連要因. 理学療法教育. 2024; 4(1): 31-37.

【学会発表】

- 1) Yoshihito Tomita, Satoshi Mizukami, Kazuhiko Arima, Yosuke Kusano, Yasuyo Abe, Mitsuo Kanagae, Kiyoshi Aoyagi: Association between sarcopenia and disability among elderly orthopedic outpatients, 16th INTERNATIONAL CONGRESS OF PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY, 20230907 ~ 20230908, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia, 選考・有, ポスター
- 2) Satoshi Mizukami, Kazuhiko Arima, Hiroki Nakashima, Yoshihito Tomita, Tetsuji Okawachi, Serina Koto, Yosuke Kusano, Yasuyo Abe, Mitsuo Kanagae, Kiyoshi Aoyagi: Association between body composition and bone health among postmenopausal Japanese women, 17th INTERNATIONAL CONGRESS OF PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY, 20230907 ~ 20230908, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia, 選考・有, ポスター
- 3) 重國宏次, 加藤剛平, 富田義人: コロナ禍における医療系大学生の運動習慣と精神的健康の実態調査, 第10回日本予防理学療法学会学術大会, 20231028~20231029, 函館, 選考・有, ポスター
- 4) Arima Kazuhiko, Koto Serina, Okawachi Tetsuji, Nakashima Hiroki, Miyata Jun, Hasegawa Maiko, Tomita Yoshihito, Nishimura Takayuki, Mizukami Satoshi, Akahoshu Emi, Kanagae Mitsuo, Tamai Mami, Abe Yasuyo, Aoyagi Kiyoshi: Psychological distress and bone health among community-dwelling

residents, 第82回日本公衆衛生学会総会, 20231031~20231102, 茨城, 選考・有, ポスター

- 5) 富田義人, 中島弘貴, 水上諭, 有馬和彦, 草野洋介, 安部恵代, 金ヶ江光生, 青柳潔: 運動器疾患を有する高齢者のサルコペニアと複数回転倒との関連, 第94回日本衛生学会学術総会, 20230307~20230309, 鹿児島, 選考・有, ポスター

【学会・研修会講師など】

- 1) 東京都理学療法士協会江東区支部 区民公開講座講師. 2023年12月
- 2) 第10回日本予防理学療法学会学術大会(口述セッション) 座長. 2023年10月

【社会貢献活動】

- 1) 日本生理人類学会 代議員
- 2) 日本生理人類学会誌 編集委員
- 3) 日本老年療法学会 教育委員
- 4) Journal of Physiological Anthropology Editorial Board

森本 晃司: 講師

【雑誌論文】

- 1) Gokhan Yagiz, Nami Shida, Hironobu Kuruma, Masahiro Furuta, Koji Morimoto, Mitsuo Yamada, Tatsuji Uchiyama, Hans-Peter Kubis, Julian A Owen: Rugby Players Exhibit Stiffer Biceps Femoris, Lower Biceps Femoris Fascicle Length to Knee Extensors, and Knee Flexors to Extensors Muscle Volume Ratios Than Active Controls. Int J Sports Physiol Perform. 2023 Jul 26;18(9): 1030-1037.
- 2) Masashi Aoyagi, koji Morimoto, Atsushi Kobayashi: Are trunk muscle sizes different between acute lumbar spondylolysis and nonspecific low back pain? Journal of Bodywork & Movement Therapies. Manuscript Number. YJBMT-D-22-00224R1. 2024.2.26 Accept.

- 3) 富田義人, 加藤剛平, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: 新型コロナウイルス感染症蔓延下における大学生の主観的運動量増加と精神的健康度との関連. 日本予防理学療法学会雑誌 第3巻1号, 17-21. 2023年
- 4) 畠山久司, 小野寺哲夫, 武井圭一, 森本晃司, 大塚幸永: 医療系専門職大学の入学生に対する専門職大学の認知度に関する調査研究. Japanese journal of research for the occupational therapy education 23 (1), 10-18. 2023年
- 5) 小野寺哲夫, 畠山久司, 武井圭一, 大塚幸永, 森本晃司, 江幡真史: 医療系専門職大学の教育的特徴の何が OT/PT を目指す学生の成長に影響を与えるのか. 敬心・研究ジャーナル 7 (1), 45-51. 2023年
- 6) 加藤剛平, 富田義人, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: コロナ禍における医療系大学生の Quality of Life に関連する精神的健康度および主観的運動習慣. 総合理学療法学 3 (0), 9-17. 2023年
- 7) 畠山久司, 小野寺哲夫, 武井圭一, 森本晃司, 大塚幸永, 江幡真史: 医療系専門職大学の特色に対する学生の認知度に関する調査研究. 東京保健医療専門職大学紀要 3 (1), 82-85. 2023年

【社会貢献活動】

- 1) 流通経済大学ラグビー部メディカルアドバイザー
- 2) 東京農大二高ラグビー部メディカルアドバイザー
- 3) 日本パラスポーツトレーナー学会 事務局

【講師】

- 1) 群馬スポーツリハビリテーション研究会 30周年記念研究会 講師. 2023年12月2日
- 2) 第20回国際エクササイズサイエンス学会学術大会 講師. 2023年12月9日
- 3) 群馬スポーツリハビリテーションクリニック 講師. 2024年3月24日

重國 宏次: 助教

【論文】

- 1) 加藤剛平, 富田義人, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: コロナ禍における医療系大学生の Quality of Life に関する精神的健康度および主観的運動習慣. 総合理学療法学, advpub. 2023年.
- 2) 富田義人, 加藤剛平, 重國宏次, 有本邦洋, 五嶋裕子, 森本晃司: 新型コロナウイルス感染症蔓延下における大学生の主観的運動量増加と精神的健康度との関連. 日本予防理学療法学会雑誌, advpub. 2023年

【学会発表】

- 1) 重國宏次, 加藤剛平, 富田義人: 大学生における運動習慣の実態調査～新型コロナウイルス感染症第3波を迎えて～, 第8回 日本予防理学療法学会学術大会, 2023年10月

【社会貢献活動】

- 1) 江東区介護予防給付費等の支給に関する審査会 委員

(文責: 清宮清美)